

# みなしご通信



## すみれ堂で盲導犬を考える

初夏の《すみれ堂》に行きました。北鎌倉にあるこのお店は私が福島で保護活動をやっていたころからキャリアアウーマンの川原さんが仕事のかたわら自宅を期間限定解放して知り合いの芸術家たちの非売作品を展示販売する場所「写真」売り上げの《すべて》を犬猫みなしご救援隊に寄付するという太っ腹なシステムで東日本大震災から8年が過ぎた今でも年に2回、春と初夏に開催しています。私は年に1回《すみれ堂》に顔を出しています♪

川原さん一家は長年盲導犬のリタイア犬や不適格犬を引き取って《お看取り》をしておられます。リタイア犬の現実を聞けば聞くほど私は盲導犬が《フビン》でなりません。盲導犬の話



は決して《美談》ではないと言ふことこれだけは皆さまにもトクと知っていたきたいのです。私の想像をはるかに超えるほど盲導犬の生活は《悲惨》です。一番遊びたいときに自由に遊べず、オシッコも自由にしてはいけない生活を長年送り続けた犬は、全頭もれなく

《慢性膀胱炎》です。そして股関節形成不全など身体的問題を持つて生まれたたり、明るすぎる性格などの問題で盲導犬になれない！と判断されると《不適格犬》と呼ばれ訓練所には居られなくなりす。盲導犬になれる犬は5匹に1匹だそうじゃあ残りの《不適格犬》はいずこに？盲導犬にするためものすごい数のラブラドルが生まれてきているのに私の周りで盲導犬の不適格犬を飼っている人は川原さんしかいません。他の《不適格犬》は、どこに行っているのでしょうかねえ。

川原一家は盲導犬を看取ることを目的としているので基本はリタイア犬を引き取っておられますが※川原一家は引き取る犬は選びません。今回は股関節形成不全が理由で《不適格犬》になった2才の子を引き取られたのでその子の話を少しします。盲導犬は仔犬のとき《パピーウォーカー》で人間を怖がらないよう人間を大好きにさせるよう



可愛がつて可愛がつて愛情たつぷりで育てられます。その後盲導犬訓練所に戻って厳しい訓練を受けるわけです。お父さんがいてお母さんがいて子どもたちもいてとつても幸せだったのにそこから訓練所つて：一気に奈落の底に落とされた気分でしょう。盲導犬訓練所で1年とか年単位で訓練された後に「やっぱ股関節が悪いから不適格だ！」と言われたら。私は誰？なんのために生まれて来たの？な気分でしょう。川原さんちの「カラちゃん」写真です。驚くことにカラちゃん（の体重は19キロ！うちの中型雑種たちの方がよほどデカイじゃん！けどここ3〜4年は盲導犬は小型の子ばかりなんだそう。大型犬であるラブラドルに一体何が？そんなもん普通に

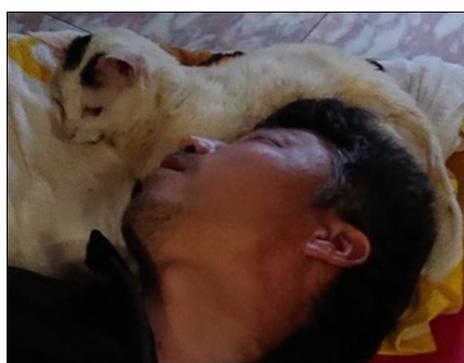
考えても体に不具合が出るでしょうよ！人間に例えたら30キロぐらいつてことですよ！ダメでしょ！私が想像するに、35キロの犬を連れるのは大変。35キロの犬が電車に乗るのは邪魔：これじゃないですか？盲導犬が小型化された理由は。もしそうだとしたら盲導犬協会はどんだけ犬を人間のために使えば気が済むんじやろう：盲導犬協会は犬の命を命とも思わず人間のためになるようにただヤミクモに厳しくしつけ都合に合わせて小型化させてそれでもええことしとる気になつとんじやろか？

もうね今や世界はAIの時代ですよ。わざわざ喰って出して病気になるって年を取る犬を使わなくても最新の超・親切的な盲導ロボットを開発したらどうじやろうか：私に頭脳があるならば盲導ロボットを開発するんじゃないが：ここでは書けないような話がたくさん聞けたし《すみれ堂》に行けてよかったです、私。

# 無責任餌やり

いつも私が言っているように猫を保健所&センターに持ち込む人間は猫嫌いではなくほとんどが「無責任な餌やり」です。ただただ自分の気持ちを満たすためだけに安価なフードを「ばらまく」無責任な餌やりはその子が「自分になつけばええ」だけなのでTNRをしないだけでなくその子の健康なんてこれっぽっちも考えていません。

その子が病気になっても絶対に病院へ連れて行った



【手術したエイくん、田原とおねんね】犬猫みなしご

りはしませんし近隣住民とトラブルになったり家主や地主から注意を受けると自分を守るために「この子がいたら私が今の家に住めなくなる」「これ以上猫が増えたら私の生活が追いつかなくなる」「こんなクソみたいな理由でいとも簡単に猫を保健所&センターに持ち込みます。

それらにかんがみると、保健所&センターに持ち込まれる野良猫のほとんどが愛情ももらえない状態で安価なフードを食べていた子たちなので細胞レベルが非

常に低い…ってのがわかるでしょ。だから、余計に私は『絶対に幸せにしちやるけえの!』…と奮起するわけです。

# 好き勝手な噂

何度も言っているように犬猫みなしご救援隊の施設は「保護動物たちの生活の質を守るために」一般の方の見学は一切お断りしています。

見学を断ると「好き勝手なウワサ」はもちろん飛びます。「絶対にキャパ超えて破たんする」ってのは

救援隊・広島本部に朝が来た♪今朝オジサンと寝ていたのはエイくんでした。猫とオジサンの「幸せそうなおねんね」写真上ですがエイくんは車にハネられ川に落ちて顔を強打、重傷を負っ



て「写真下」センターに収容された子です。これが限界というところまで修復手術をしましたがアゴがズレたのがほんの少し治らず今でも自分で食べられませなし飲めません。毎日毎日うちの者が食べさせて飲ませてそれをエイくんが嫌がらず受け付けてくれてそれで「今のこの幸せがある」のです。そりゃく私は嬉しいですよ♪

朝飯前のウワサで「あそこ施設には地下室があつてそこは虐待部屋になつてい」とか「代表(私のこと)は施設内ではなく実は豪邸に住んでいる」とか「夜な夜な猫をトラックいっぱい積んで山奥に捨てに行つていく」とかもうね…おかしくて逆に「その話いただきたい」と思うぐらい(笑) そんなことを言う人は「同業者」でなおかつ私のことをまったく知らない人。私のことをよく知る同業の人たちはみんな「中谷さんなら普通にやるよ」と思つてくれていて、こんな私を頼つていろいろ相談してくれますもん♪

# 8月の予定

6日 埼玉県福祉関係者限定みなしご庵 ▼ 20 & 21日 佐賀TNR ▼ 22日 熊本TNR ▼ 23日 水俣TNR ▼ 31日 倉敷児島図書館講演会

本紙は中谷百里代表ブログ「みなしご庵へようこそ」の記事を抜粋したものです。

ソフトバンクの「がざして募金」、ジャパングビンで寄付ができます。  
(<https://japangiving.jp/supports/1281>) 皆さまからのご支援、よろしくお願いたします。



みなしご通信のバックナンバーは、公式ページ (<http://www.minashigo.jp/newpaper/index.html>) に掲載しております。



犬猫みなしご救援隊  
〒731-0234  
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2  
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711